

# 2011原水爆禁止国民平和大行進 小矢部から石川県への引き継ぎ



石川県へ入った平和行進団  
= 6月18日、倶利伽羅

核兵器の廃絶に今年は大震災被災者支援、自然エネルギーの転換を訴えて2011原水爆禁止国民平和行進が行われました。

6月17日福岡町を経て小矢部市役所に到着。中村市議会議長や総務課長が出迎えました。桜井市長が先頭に核兵器全面禁止のアピール署名し庁内を回して集めた150名分を行進団に託しました。18日、出発式では砂田市議が激励の挨拶。朝日町から広島まで歩き通す桜井正男さん(東京原水協所属)は、核廃絶への決意を述べ大きな拍手が起きました。

行進団は市役所前から市街地を行進、署名を集めながら石川県津幡町へ向かいました。途中署名に入り、短時間でしたが署名11筆、募金8700円(被爆者や被災者の支援に半分の当ります)の協力を得ました。

富山県の行進団と砺波市を出発した平和マラソン団は倶利伽羅峠を越えた地点で能登、輪島から行進してきた石川県の行進団の出迎えを受け、平和行進横断幕の引き継ぎを済ませました。

## 防災計画見直し

砂田市議 市の防災計画の見直しのタジメは、桜井市長 EPO(原子力災害の防災対策を重点的に充実すべき区域)の見直しが必要なものと、国、県の防災計画の見直しを参考にできるだけ早く見直したい。

## 液状化対策の重視を

液状化危険予想区域の設定を木舟城沈下の歴史からも重要

砂田市議 震災対策では過去に大正の大地震で木舟城が沈んだ例があることから、地震による液状化対策が重要な課題のひとつだ。市の防災計画では液状化危険予想区域を指定することにしているが、いまだに指定されていないその区域を指定しそこに住宅を建てる場合には、建築確

認申請の段階でその対策を求め、市の施設についても液状化に対応することとしているが、肝心の区域指定が無いのでは話にならない。いまだに指定するのは、桜井市長 市内には点在するポツリンデータがあるので、なるべく早い時期に液状化マップをつくりたい。県の液状化マップでは小矢部市役所や小矢部川周辺が指定されているが、液状化は砂の層で発生する現象であり、市内には砂質層があまり分布していないので、もう少し細かく分析する必要があると思う。

## 個人住宅の液状化対策指針

桜井市長 対策工法もいろいろある。どういった方法がよいか、それも含めて防災計画で示したい。

## 上下水道の液状化対策

産業建設部次長 水道施設の基幹幹路の送水管、配水管で耐震適合性があるのは15.8%であり、国の補助制度を活用し順次すすめたい。下水道施設は平成7年の阪神大震災以後はマンホールと下水道管の接合部に振動などのずれを吸収する可撓かつ継手に、平成17年以後、管の周りの埋め戻しは山砂から砕石に代えている。それ以前のは財政状況を見通しながら老朽化対策の改築時に検討したい。

## 学校・保育所の耐震補強を

残るは石動小・大谷小 東部小・石動東部保育所

砂田市議 今、石動小学校の耐震化のための全面改築をすすめており、2014年4月から新校舎になる。残るのは大谷小学校と東部小学校、保育所では石動東部保育所。これらの耐震化完了に必要な事業費はこれだけか。また、学校の耐震化について完了予定の2018年を2年早めることができないか。

教育次長 事業費は大谷小学校本館、体育館に2億800万円、東部小学校本館1億1700万円、合わせて3億2500万円と試算。2年早めればこの1億2000万円が石動小学校の完成予定が2013年度で、引き続き2014年度からすすめたい。

民生部長 市施設の耐震化は2015年度までに取り組みしているが、石動東部保育所はその優先度、財源確保を総合的に勘案し、検討する。事業費は1700万円と試算。

総合会館も耐震補強対象に

民文委

6月議会最終日に民生文教常任委員会報告で、学校、保育所の耐震補強を、年次計画を立てて促進すること、耐震補強対象に総合会館も含めること、石動小学校改築に際し、太陽光発電の設置を検討することを強く要望しました。

## 6月議会報告

## 石動駅

砂田市議 石動駅の南北を自由通路でつなぎ、駅舎を線路の上に新設する橋上駅とすることが検討されている。それに伴って、事業費が1億円から2億円かかる。これに比べて、南改札口を設置し、ホームのエレベーターを設置する案は約6億円で済む。ただ、南口に入人を配置するのは市の負担で年間1千万円とのこと。それでも10年間で1億円、40年でも4億円で、この方が安上がりだ。

駅南に駐車場をつくり、鉄道と連携してパークアンドライドをすすめることは効果があるが、駅前商店街の賑わい創出

## 橋上化・自由通路は必要か

にはならない。駅前商店街の片側交互駐車帯に車を停めて買い物ができるから、わざわざ駅南に車を停め自由通路を歩いて駅前行く人は少ないと思う。

「市民のいろいろな意見を伺っていく」、産業建設部次長

産業建設部次長 駅南広場周辺に商業店舗の立地誘導をすすめたい。南北自由通路で南北一体のまちづくりをすすめたい。駅舎のパーアライ化を進めたい。将来の石動駅を中心とした周辺整備について、ブリック・メントを求め、その必要性について市民のみなさんのご意見を伺って整備していく。

## 「ゾーン運賃制」で駅利用増を

砂田市議 石動駅を活用して北陸線と公共交通機関の利用を増やす方策を提案したい。かつて石動駅は県内でも一番目に乗降客が多かった。金沢方面は石川県庁の通勤や、金沢大学の通学など北陸線の利用者が多かった。しかし今では石川県庁は田んぼの真ん中へ金沢大学も山の中へ移転した。金沢、富山、高岡いずれも、いろんな施設を郊外へ移転で、車でない通学が不便になってきた。これも鉄道利用が少なくなった一因だ。

そこでゾーン運賃制の導入が有効ではないか。同一ゾーン内であれば、切符の有効時間内に、在来線、バス、地下

鉄 路面電車を何度乗り換えても均一料金とする。ドイツでも、韓国のソウルでも実施されている。富山、石川を一つのゾーンとして、各種公共交通機関の料金を統一していくことを提案したい。

企画室長 国内では例がないが、利便性の向上は期待できる。しかし、交通網が整備された都市部に適用している。ほとんどをJRに委ねる地方都市が導入するには交通ネットワークの不足や低い輸送密度など採算性の面から問題がある。今後、並行在来線を運営する新たな会社の鉄道事業を見据えた方策として調査、研究していきたい。